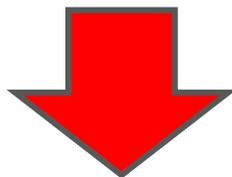


（仮称）あぶた保育所 複合化について

経過

- 本町保育所：津波危険区域に所在
- 入江保育所：施設老朽化
- 少子化に伴う幼児数の減少



みんなの森公園付近に新設する計画

複合化の必要性

全町的に公共施設の老朽化が進む中、新たに建物を新設する場合、単体として建築するより類似した機能を一ヶ所で集中的に行うことで、利便性の向上や経費の節減を図ることができること。

- 視点① 公共施設の配置の最適化、スリム化
- 視点② 事務事業の効率化
- 視点③ 利用者の利便性の向上

複合化の視点

必須条件

幼児を安全に預けられる場所であること。

《保育所との複合化に向かない施設》

例① 不特定多数が出入りする施設

例② 保育のさまたげになる施設

複合化する施設の例

コンセプト	複合化する施設
子育て関連が 一ヶ所で賄える 施設	子育て支援センター(本町保育所)
	子育て包括支援センター(さわやか)
	子育てサロン(さわやか)
	絵本スペース、読み聞かせ(読書の家)
	災害時の一時的な避難場所
	雨の日でも遊べる場所
	行政事務部門(子育て)

メリット

(1) 利便性の向上

- ① 保育所の入所申請や健診等で訪れた際に、
保育の状況を容易に確認

- ② 自由に遊べるスペースが確保され、保護者が
安心して交流を行う場所が確保

- ③ 絵本スペースを設置することで、読書の家で提供されている読み聞かせなど、広いスペースでの提供が可能
- ④ 町内には雨が降っても遊べる施設が少なく、子どもの居場所としての利用も可能
- ⑤ 本町保育所、さわやか、地域交流センターと点在する子育てサービスが一か所で提供

(2) 事務事業の効率化

- ① 子育て現場と行政事務が同一建物に入ることによって、事務事業の効率化

(3) 公用施設のスリム化など

- ① 地域交流センターの長寿命化・維持管理経費の低減

(4) その他

- ① 災害時や不審者出没時など一時的な避難場所

デメリット

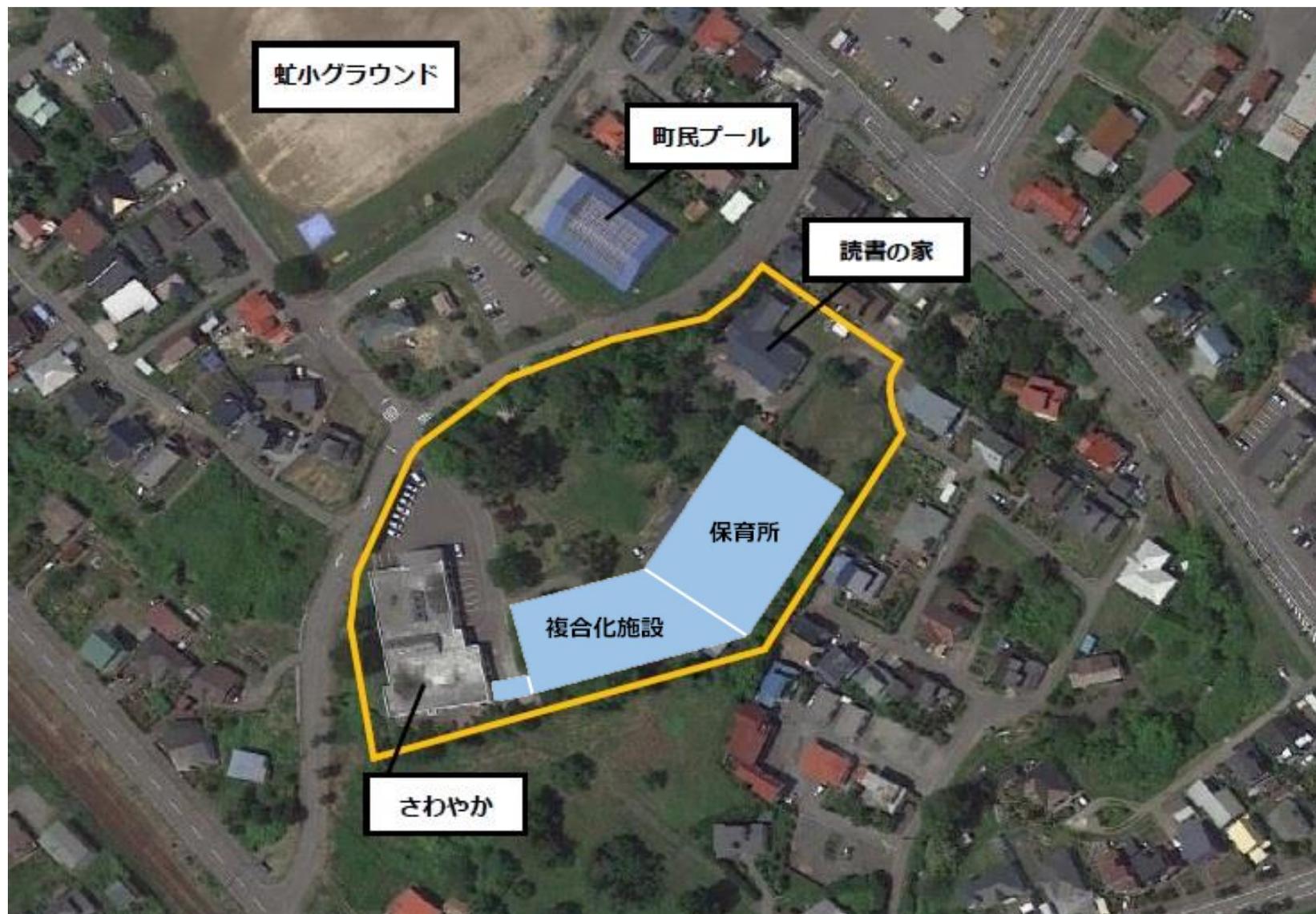
- (1) 建設費が高額となる。(当初6.5億円)
- (2) 保育所の供用開始が1年間遅れる。
→供用開始は令和9年度を予定

複合化イメージ

【イメージ図】

授乳室	<ul style="list-style-type: none">・子育て世代包括支援センター・子育て支援センター・子育てサロン・絵本スペース			
相談室				
上記機能を兼備えて一体型にする（仕切り等でそれぞれのスペースを確保）				
玄関	職員室	会議室	物品庫	トイレ

建設位置図



意見交換の場

- 複合化される施設や具体的な間取り、配置は、今後皆さま方との意見交換の場を設け進めていく。
- 保育所の整備については、原則これまでの内容を引き継ぐこと。
※配置の変更により修正はあり。

地域交流センター利用者

基本的には、他の公共施設への移転を依頼。
新たな建物は新設しない。

【移転先案】

本町5区自治会 → 青葉集会所

高齢者事業団 → 健康福祉センターさわやか
または ふれ合いセンター

【移転先案】

地域食堂

→ アイヌ民族共生拠点施設 ウトウラノ
または ふれ合いセンター

学童保育

→ 母と子の館

一般利用団体

→ ふれ合いセンター

または 母と子の館 など

スケジュール

年度	内容
令和5年度	意見交換会、基本設計
令和6年度	実施設計、地域交流センター解体 埋蔵文化財発掘調査
令和7年度 ～8年度	建設工事
令和9年度	新複合化保育所供用開始

**ご参加いただき、
ありがとうございました**

アンケートの記入に、
ご協力をお願いいたします